

化成品の新研究開発拠点 「Material Nexus Lab（仮称）」を2028年に新設 拠点を統合し、化成品事業の研究開発力を強化

理研ビタミン株式会社（本社：東京都新宿区、社長：望月敦）は、化成品事業における研究開発力強化を目的として、東京都板橋区の東京工場内に新たな研究開発拠点「Material Nexus Lab（マテリアル ネクサス ラボ、仮称）」を建設します。2028年3月の竣工、同年4月の運用開始を予定しています。



新研究開発拠点「Material Nexus Lab（仮称）」外観イメージ

当社の化成品用改良剤は、プラスチック、ゴム、化粧品、農業用フィルム、食品包装材などの幅広い用途に使用されており、製品の機能性や加工性の向上に貢献しています。また、市場ニーズの高まりを背景に、環境に配慮した製品の開発にも積極的に取り組んでおり、バイオマス関連製品においても実績を積み重ねています。

新拠点には、大阪工場（大阪府枚方市）および株式会社健正堂*（埼玉県比企郡滑川町）に分散する研究開発機能を集約します。技術者間の連携を一層促進することで研究開発力を高め、中長期ビジョンの実現を支える基盤を構築します。

「Material Nexus Lab（仮称）」という名称には、当社が持つ多様な素材技（=Material）と、知見・人財・データを結びつける（=Nexus）ことで、新たな価値を創出する拠点（=Lab）でありたいという思いを込めています。本施設は、高機能素材や新たな製品価値の創出を推進するとともに、社会・環境課題の解決にも貢献するイノベーションの中核拠点となることを目指します。

*株式会社健正堂は理研ビタミンの子会社で、化成品用改良剤を高濃度でプラスチックに練り込み、ペレット状に加工した「機能性マスターバッチ」の製造などを行っています。

施設概要

名称	Material Nexus Lab（仮称）
所在地	〒174-0065 東京都板橋区若木1-15-10（東京工場内）
機能	化成品用改良剤の製品開発、基礎研究
延床面積	1,860m ²
投資金額	約16億円
竣工	2028年3月（予定）
研究員数	竣工時 研究員18名+補助スタッフ 将来的に研究員最大30名を想定
フロア構成	鉄骨造3階建て 1F：成型加工室 2F：執務エリア・会議室・面談室 3F：実験室・分析室

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先
理研ビタミン株式会社 広報IR部
TEL:03-5362-1315 MAIL:pr_ir@rikenvitamin.jp